

所属名	事務事業名	ページ番号
バイオマス産業推進課	バイオマス産業都市構築推進事業	2
バイオマス産業推進課	地域バイオエコノミーネットワーク推進事業	3
バイオマス産業推進課	藻類産業推進事業	4
バイオマス産業推進課	藻類産業研究開発事業	5

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	バイオマス産業都市構築推進事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	バイオマス産業推進課・政策推進係	担当課長名	江島 英文
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	19地球にやさしい低炭素社会の構築	
	基本事業	温暖化防止対策の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	暮らしから発生するごみ・排水、森林や製材所の未利用木材など「廃棄物であったものがエネルギーとして価値を生み出しながら循環するまち」を目指すべき将来像として、市民・事業者・行政が連携を図ることで、新たなエネルギーや資源が地域内で循環するしくみを構築し、環境の保全と経済的な発展が両立するまち「バイオマス産業都市さが」の実現を目指す。				
事業の対象者	事業者、市民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市営バス車体への広告掲載 ・国際バイオマス展への出展 ・佐賀環境フェスティバル（オンライン開催）への出展 ・バイオマス事業の推進に伴う経済効果調査 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,474				
うち佐賀市の負担額	4,474				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
清掃工場で回収した二酸化炭素の供給先企業等						者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	4	4	5	5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
清掃工場周辺に進出した企業の事業拡大を支援するとともに、新たな事業者の進出を促進することにより、二酸化炭素のさらなる利活用を促進させる。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域バイオエコミーネットワーク推進事業	事業期間	平成 30 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	バイオマス産業推進課・政策推進係	担当課長名	江島 英文
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	当事業で開発される新規廃水有効活用技術を包含したモデル地域の産業間ネットワークシナリオを構築する。そのシナリオに対応できるように、昨年度開発したバイオエコミーシミュレーションツールを改良し、モデル地域内での種々のデータを入力し、経済、環境影響に関する評価を行う。				
事業の対象者	市民および市内事業者				
令和2年度 主な活動実績	佐賀市内における未利用資源としての廃棄物のデータを、他地域への展開も考慮して「バイオマス産業都市」に登録されている自治体が有している「バイオマス賦存量及び利用率」を中心に収集し、シミュレーションに向けたデータ整理を行った。また、事業経済性評価、環境性評価、地域経済影響評価を軸としたバイオエコミーシミュレーションツールを開発し、バイオエコミー推進シナリオの候補として選定した繊維系バイオマス利用シナリオを参照ケースとしてシステム検証を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	8,998				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
研究進捗度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100						

Legend: 目標 (blue square), 実績 (orange diamond)

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Legend: 目標 (blue square), 実績 (orange diamond)

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
本事業は令和2年度で終了した。今後は得られた知見を利用し、新たなプロジェクトへの参画を検討する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	藻類産業推進事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	バイオマス産業推進課・藻類産業推進室	担当課長名	江島 英文
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	産官学による「さが藻類バイオマス協議会」を設立し、ビジネスマッチング等により藻類産業の創出に向けて取り組む。				
事業の対象者	企業				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「さが藻類バイオマス協議会」の運営支援 ・藻類産業の市場調査及びコンサルティング ・ウェビナー「共に創る未来の産業」の開催 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	27,542				
うち佐賀市の負担額	13,771				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
藻類を活用した新規事業件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	3	3	4	4		

成果指標②						単位
藻類に関する商品開発件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	2	2	3	3		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
協議会活動の活発化、協議会組織の充実に向けて取り組むとともに、企業への情報提供やビジネスマッチングの充実化を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	藻類産業研究開発事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	バイオマス産業推進課・藻類産業推進室	担当課長名	江島 英文
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	藻類産業創出のため、佐賀大学内に「さが藻類産業研究開発センター」を設置し、藻類培養や有用成分の抽出等、藻類の産業化に必要な研究開発を行う。				
事業の対象者	企業、大学				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学での「さが藻類産業研究開発センター」の設置及び必要機器の整備 ・大学への藻類培養に関する研究委託 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,187				
うち佐賀市の負担額	10,597				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
藻類を活用した新規事業件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	3	3	4	4		

成果指標②						単位
藻類に関する商品開発件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	2	2	3	3		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

（一社）さが藻類バイオマス協議会と一体となって、藻類関連の新産業の創出と培養、大量培養技術の開発、加工技術等の研究を行うことで、新規事業や商品開発につなげる。